

## 議 事 録

会議名	釧路市障がい者自立支援協議会 第1回 生活支援部会	
事務局	釧路市障がい福祉課 釧路市障がい者基幹相談支援センター	
開催日時	令和5年6月19日(月)15:00~17:00	
開催場所	釧路市総合福祉センター2階大会議室	
出席者	部会員	出席 26名(敬称略) 議事録 池守哲雄(KCマインズ) 高橋部会長(鶴が丘) 井上副部会長(あゆみ) 佐藤副部会長(ニチイ)、 山形(さわらび)、佐藤(花笑み)、菅原(プロムナード釧路)、伊藤(アトリエ)、 高橋(カス)、赤田(びちかーと)、佐野(ひだまり)、西(大きな木)、 工藤(CALUMA)、福光(地域生活支援センター)、小林(地域生活支援センター)、 竹川(ふろぐれ)、蛭名(ふろぐれ)、松田(ぽこあぽこ)、坂上(すてっぷ)、 及川(すてっぷ)、平間(社協)、佐々木(音別町)、北澤(アトリエ)、 中井(アトリエ)、三輪(中標津養護)、斎藤(中標津養護)、
	その他	
	傍聴者	
	事務局	出席 4名(敬称略) 鈴木(釧路市障がい福祉課)、藤田(障がい福祉課)、林(基幹センター)、 柿沼(基幹センター)

## 議 事 内 容

会議次第	<ol style="list-style-type: none"><li>1, 開会</li><li>2, 挨拶 釧路市障がい者自立支援協議会 生活支援部会長 高橋修</li><li>3, 報告事項<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 生活支援部会 令和4年度活動報告及び令和5年度活動計画について</li><li>(2) 地域生活支援拠点について</li></ol></li><li>4, 協議事項<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 第7期障がい福祉計画および第3期障がい児福祉計画について</li></ol></li><li>5, グループホームの空き情報について</li></ol>
------	--

# 議 事 内 容

## 1、開会（15:00）

### 2、挨拶 高橋部会長より

昨年度末より参集開催を行ってきましたが、今年度も参集開催で部会を開催する予定です。リモートのほうが参加しやすいとの意見もありますが集まって会議をすることで雑談なども含めメリットもあると思います。

第7期障がい福祉計画および第3期障がい児福祉計画についての話がメインにはなりますが、地域の利用者さんや家族などをどのように地域で支えていくか皆さんに考えていただきたいと思います。

#### ・事務局紹介

障がい福祉課（藤田、鈴木） 基幹相談支援センター（林、柿沼、吉川（欠席））

#### ・資料確認後、会員の自己紹介

### 3、・生活支援部会 令和4年度活動報告（井上さんより）

別紙1参照

1回目～2回目の意見を参考に第3回に高齢障がい者の支援に関する研修を開催。

#### ・令和5年度活動計画について（高橋さんより）

別紙2参照

9月、12月の開催で事例紹介を行う予定。

#### ・地域生活支援拠点について（柿沼さんより）

別紙3参照

資料の1の利用者に対して支援調整中。

### 4、協議事項

#### ・障がい福祉課より資料説明

- ・グループワークでは第7期障がい福祉計画の資料3 成果目標シートの「地域生活移行者数」の具体的な数値目標の検討。および、資料4-2「活動指標シート」の活動指標の指数値を各グループ（訪問系、日中活動系、居住系）で検討。

#### ※グループワーク検討結果

##### ・Aグループ（居住系）

資料に関するパーセンテージに関して具体的な数値はでていません。その中で出たいいくつかの意見を発表。施設入所から地域生活に移行する希望が全くないわけではないが、医療的な部分、健康面の管理、食事管理などを総合的に考えたうえで可能かどうかというそもそもの疑問が出た。

施設の空き状況などの情報共有などがまだまだわからない部分が多いので、もっとわかりやすいものがあれば話しを進めやすくできるのではないかとという意見が出ている。

日中支援型のサービスがもっと充実してくれば状況も変わってくるのではないかとという意見もあるが、働く側の人材の問題もあるのでそういう所も一つずつクリアしていく必要があるのではない

## 議 事 内 容

か?という意見が出ている。

以上。

### ・Bグループ（日中活動系）

地域生活移行者数の目標数値が6%、18人になっているが、現場とは少し乖離しているように感じる。現在施設入所している方の多くは長らくそこで生活をし、重度の障がいを持った方が高齢になっていく中で、本当に本人の意向で地域移行生活をされたいのか?という疑問もある。理由があるから施設入所している方が多い中で、6%18人という数値は現場とは乖離かあるのではないか?釧路市の令和4年度の数字を見てもなかなかこの数値は厳しいのではないかと感じる。人材等の問題もあるのでただただGHに入れればいいという問題でもなく、人材育成なども含めこの数値は難しいのではないかと感じる。

活動指標シートについては、訪問系サービスに関しての数値は妥当だろうと検討されている。日中系サービスの生活介護の104%に関しては養護学校の生徒が増えていることや、B型就労から高齢のため生活介護への移行があるのももう少し数値としては伸びるのではないかと検討。自立訓練、療養介護に関しては妥当な数値ではないかと検討。短期入所に関してはコロナ前の令和1年度は78人となっているのでコロナ5類になったこともあり、今後数値は伸びてくるのではないかと検討している。

以上。

### ・Cグループ（訪問系）

釧路市の目標の6%に関しては妥当な数値ではないかと考えている。地域生活移行するほとんどがGHへ移行し居宅への移行は少ないのでは?と考えており6%で妥当ではないかと考えている。

活動指標については居住系としてはこの数値に向けて頑張ろうとは思っているが、状況としてはヘルパーの数が減少していたり、資格を取るために帯広などに行かなければならない現状であったりがあり、人材育成が追い付かないため釧路市内で資格を取れるシステムやヘルパーを確保するための補助金だとかを考えていただけないだろうか?という意見があった。自立生活援助の部分に関してはヘルパーが行って行くのは難しいのではないかとこの意見があった。

以上。

## 5、その他

### ・GH空き情報について（基幹センターより）

現在自立支援協議会のHPに掲載されているが、なかなか円滑に活用できていないのではないかと情報収集や掲載までの流れが円滑にできていないと感じている。生活支援部会の役員と基幹センターとで協議をして掲載の仕方を整理している所である。次回の生活支援部会までに情報提供できるように準備をしている。

## 6、閉会（16:50）